

## 中海自然再生協議会（第 6 期、第 2 回）議事録案

平成 29 年 9 月 30 日（土）13:30～15:30

於 島根県庁会議棟第 4・第 5 会議室

（参加者名簿 別紙）

第 2 回 第 6 期中海自然再生協議会は、会長國井秀伸氏の挨拶、引き続き自然再生センター理事長徳岡隆夫氏の挨拶で始まった。議事に入る前に、前回第 1 回協議会で説明のあった第 6 期の会長代理（および事務局長）について、國井会長から神谷要氏（米子水鳥公園 館長）を会長代理候補者として推薦したいとの説明、提案があった。神谷氏はこの場は欠席であったが、拍手で神谷氏が第 6 期会長代理に承認された。

その後議事「第Ⅱ期実施計画書について」に入り、4 件の実施計画書についてそれぞれの責任者から、あらかじめ委員にデータ送付されていた資料を画面に写し、読み上げる形で説明が行われた。発表者の時間的な都合により、予定されていた発表順をかえて、発表があった。

第Ⅱ期実施計画書の発表は次の通り（1、4、3、2 の順序）。

1. 海藻類の回収及びその利用事業（渡部敏樹）
2. 有用二枚貝（サルボウガイ）復活を目指す事業（川上 豪）
3. 浚渫窪地の環境修復事業（桑原智之）
4. 中海湖岸域の利・活用プロジェクト（熊谷昌彦）

実施計画書は、（1）実施者の名称、（2）対象とする区域と位置図、（3）対象とする地域活動の現状、（4）取り組みの意義とその重要性、（5）取り組みの方法、（6）モニタリングの方法、の各項目からなり、それぞれについて説明があった。それぞれの計画書について活発な質疑応答がされ、誤解のないようにするための文章表現の削除、訂正や加筆、及び誤認のない図の表現等の一部修正の意見が寄せられた。

その後、國井会長から実施計画書の提出について、今後の流れについて説明があった。今回指摘された修正意見を取り入れて、責任者は修正した実施計画書を 10 月中に再提出する。事務局で推敲を行った後、環境省の担当の専門官にみてもらい、年度内に開催される環境省の専門家会議にあげるという手続きですすめるとの説明がなされた。

最後に國井会長から、次回の中海自然再生協議会は来年の 3 月に 1 回開催したいとの発言があった。（閉会 15:30）